愛知医科大学加齢医科学研究所で病理解剖を受けた方のご家族様へ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	デュシェンヌ型筋ジストロフィー剖検脳を用いた神経病理学的研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	(所属) 加齢医科学研究所 (職名) 教授 (特任) (氏名) 宮原弘明
研究の対象となる方	1990年1月から2024年12月までに愛知医科大学加齢医科学研究所ブレインリソースセンターで病理解剖を行った患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2030年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>〔研究目的〕</p> <p>近年、デュシェンヌ型筋ジストロフィー（DMD）では中枢神経系への影響も注目されています。しかし、DMDの脳病理については未だ不明な点が多く、特に神経細胞膜におけるジストロフィン関連タンパク質の機能や神経シナプス可塑性への影響は十分に解明されていません。これまで基礎研究にて、ジストロフィン蛋白の一つである Dp71 がアストロサイトの水代謝と血管透過性の調節に関わる、Dp71 が海馬 CA1 ニューロンのシナプス後膜に局在する NMDA 受容体のクラスター形成に関わる、Dp42 が海馬・扁桃核・前頭回ニューロンおよび小脳プルキンエ細胞のシナプス後膜に局在する GABA_A 受容体のクラスター形成に関わる、ことが明らかになっています。しかし、実際の脳組織での検証はまだ十分に行われていません。本研究では、加齢医科学研究所ブレインリソースセンター登録されている DMD 剖検脳を病理学的に解析し、ジストロフィン遺伝子欠失範囲と神経症状や神経病理所見との関連を検討することを目的としています。</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>DMD と診断を受けている剖検例および年齢と性別を揃えた非筋ジストロフィー剖検例を対象として、病理診断に用いた残余検体(病理標本とパラフィンブロック) を用いて病理学的な解析を行います。臨床的に DMD と診断されているが遺伝学的な確認がなされていない剖検例においては凍結検体を研究協力機関に送付し、ジストロフィン遺伝子の欠失や重複を確認します。非筋ジストロフィー剖検例に対してジストロフィン遺伝子の解析を行う予定はありません。</p> <p>〔外部への試料・情報の提供〕</p> <p>試料・情報は個人が特定できないようにし、郵送により共同研究機関へ提供</p>

	<p>します。</p> <p>〔外部への提供開始日〕</p> <p>研究実施承認後</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：病理解剖時の残余組織を使用します。</p> <p>情報：診療録（カルテ）から年齢・性別・既往歴・血液検査結果等を収集します。</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	<p>国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部 部長 西野一三</p>
試料・情報を利用する学外の者	<p>国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 疾病研究第一部 部長 西野一三</p>
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	<p>本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2028年3月31日まで窓口での受付もしくは電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
外国への試料・情報の提供	<p>非該当</p>
問い合わせ先	<p>愛知医科大学 加齢医科学研究所 神経病理研究部門 担当者：(職名)教授(特任) (氏名)宮原 弘明 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12082)</p>